ふれあいネットワーク

社協むらかみ

第87号
令和４年10月15日発行

村上市災害ボランティアセンター 多くの支援に感謝

香川県の中学校からいただいたメッセージ（土嚢袋に描かれていました。）

8月3日からの大雨により村上市内では広範囲にわたって浸水被害、土砂災害など甚大な災害が発生しました。

村上市社会福祉協議会では、8月6日に「村上市災害ボランティアセンター」を開設し、市内、県内、隣県から4，000人を超えるボランティアがかけつけ、約400世帯の復旧支援活動を行ってきました。

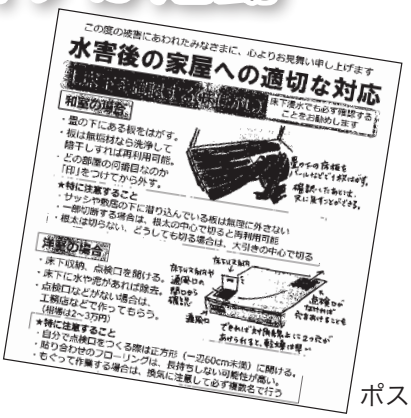
協働によるセンター運営

村上市社会福祉協議会のほか、村上市、新潟県社会福祉協議会、いわふね青年会議所、災害アドバイザー、NPOなど多くの団体から協力やアドバイスをいただき、運営を行ってきました。スタッフには、県内の社会福祉協議会の職員をはじめ、多くの皆さんの支援をいただきました。

4千人超のボランティアが活動

技術系ボランティアによる活動

重機をもったボランティアが全国各地からかけつけていただき、手作業では時間がかかる活動に力をいただきました。また、被災家屋の知識をもったボランティアの方には、断熱材を使用している家庭が多くなっているため、水害後の家屋等への適切な対応のアドバイスをいただきました。アドバイスは、泥出しのボランティア時やポスティングにより各世帯へ周知をはか



ポスティングしたチラシ

Ⓐ

Ⓑ

Ⓒ

Ⓓ

Ⓔ

Ⓐ技術系ボラの活動
Ⓑ民生委員の打合せ
Ⓒ日赤奉仕団の炊出し
Ⓓ支援いただいたタオル
Ⓔボランティア（泥出し）

【運営支援団体】
いわふね青年会議所、新潟県社会福祉協議会、新潟県内社会福祉協議会、日本赤十字社新潟県支部、長野県社会福祉協議会、山形県南陽市社会福祉協議会、岡山県倉敷市社会福祉協議会、新潟災害ボランティアネットワーク、災害NGO結、ピースボード災害支援センター、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

【ボランティアの参加団体（把握できている団体）】
★技術系　ロハス南阿蘇たすけあい、災害ボランティア愛知人、オープンジャパン、NGO災害救援チームフェニックス救援隊、DRT JAPAN、天理教災害救援ひのきしん隊、BOND＆JUSTICE、災害支援団体Gorilla、ボランティアチーム援、シャンティ国際ボランティア会
★一般　村上市消防団、村上市民児協連合会、村上地域まちづくり協議会、神林地区まちづくり協議会、村上商工会議所青年部、村上高校ラグビー部、村上桜ケ丘高校職員、村上エレテック（以上、村上市）、新潟北高校野球部、新発田中央高校、北越高校サッカー部、新潟青陵大学ボランティアセンター、新潟医療福祉大学、国際総合学院、長岡崇徳大学、長岡看護大学、日本自然環境専門学校、雪国JC、五泉JC、燕三条JC、新発田JC、新津JC、新潟JC、ダムズ、ジブラルタ生命、新潟防災シニアリーダー、アルビレックスチアリーダー、新発田市民児協、連合新潟、ホライズン、NSGカレッジリーグ、ミツキ工業、三条ロータリーアクト、魚沼交流ネットワーク**（3ページへ続く）**

Ⓐ

Ⓑ

Ⓒ

Ⓓ

災害ボランティアセンターの運営は
村上市のほか、赤い羽根共同募金会の
助成をうけて行っています。

スタッフ（他市社会福祉協議会などと一緒に）

Ⓐ受付でのコロナ対策
Ⓑ受付をするボランティア
Ⓒ出発前の注意説明
Ⓓ現地までの送迎バス

りました。

民生委員・日赤奉仕団による活動

民生委員の皆さんには、被災地域の「高齢者避難行動要支援者」の家庭を訪問し、ボランティアの依頼がないかや心配ごとや困りごとについて聞きとりを行っていただきました。

日赤奉仕団には、小岩内集落への炊き出し活動の他、熱中症やケガ等しないよう、出発前のオリエンテーションや被災地域を見回りで指導を行っていただきました。

一人ひとりの笑顔のために

復旧支援から復興支援へ

ボランティア活動で使用するタオルのお願いには、市民の皆さんのほか、市外からも多くの支援をいただきました。

ボランティア依頼がほとんど無くなったため、9月末日で「村上市災害ボランティアセンター」を閉鎖しました。

被災した皆さんは、復興へ向けて前に歩みだしております。

10月から、社会福祉協議会では、「むらかみ見守り支援センター」を村上市荒川支所に開設し、被災された方への訪問、見守り、相談など復興に向けての支援を、村上市、区長、民生委員等と連携して行っていきます。

ボランティアセンターの動き

8/ 4　第１回村上市社協対策本部会議
センター開設に向けて市との協議
8/5　開設準備(神林農村環境改善センター)
8/ 6　センター開設・ニーズの受付開始
8/ 7　ボランティア活動開始（募集範囲阿賀北）
8/ 7　日赤奉仕団村上・神林による小岩内集落への炊き出し
8/10　募集範囲を県内に拡大
8/15　第２回村上市社協対策本部会議
8/15　大雨予報のためボランティア活動中止
8/16　センター移転作業（ボランティア活動中止）
8/17　センターをパルパーク神林に移転
8/20　募集範囲を隣接する５県（山形県、福島県、群馬県、富山県、長野県）に拡大
8/22～28　民生委員による被災地域の「高齢者避難行動要支援者」の家庭訪問
9/1　スタッフによる被災地域のポスティング活動（ポスティング活動のためボランティア活動中止）
9/12～　週末ボランティア活動開始（金・土・日・祝日のみの活動）
9/30　センターの閉鎖

（2ページより）見附市役所まちづくり課、なまらエンターテイメント、自治労新潟、カイロプロテック、cafe flat bean、リンコーコーポレーション、下越北地区郵便局会、聖籠町消防団、日本海洋石油資源開発、ダイナム、新潟県民生同盟連盟、新潟県生協連（以上、新潟県）、チームながでん、長野市社会福祉協議会（以上、長野県）、ミウラカーズワン（以上、山形県）
★ボランティアバス　新潟県、胎内市社会福祉協議会、見附市災害ボランティア、小千谷市ボランティアセンター、湯沢町社会福祉協議会、新発田市社会福祉協議会、阿賀野市社会福祉協議会、新潟市社会福祉協議会、新潟市南区社会福祉協議会、長岡市社会福祉協議会、上越市社会福祉協議会、聖籠町社会福祉協議会、糸魚川市社会福祉協議会、三条市社会福祉協議会（以上、新潟県）、長野市社会福祉協議会、池田市社会福祉協議会、中野市社会福祉協議会、伊那市社会福祉協議会、飯綱町社会福祉協議会、（以上、長野県）、南陽市社会福祉協議会（以上、山形県）

赤い羽根共同募金　歳末たすけあい募金

10月1日より赤い羽根共同募金運動が始まりました。また、12月1日からは、歳末たすけあい募金運動が始まります。

お寄せいただいた募金は、県内の福祉事業や村上市の福祉事業推進のために使われます。また、災害時のボランティア活動の支援にも使われます。

令和４年度　村上市目標額

15,685,000円

赤い羽根共同募金は、戦後間もない昭和22年、「困ったときはお互いさま」の気持ちから「国民たすけあい運動」として始まりました。現在は、社会福祉法に基づき、地域福祉の推進を目的に、様々な地域の課題解決に取り組む民間団体を支援する「じぶんの町を良くするしくみ。」として活用されています。

12月1日からの「歳末たすけあい運動」は、「つながり　ささえあう　みんなの地域づくり」をスローガンにしており、地域の中で孤立することなく誰もが安心して年末の時期を過ごすことができるよう幅広い観点で活用されています。

近年は、頻発する災害への備えや災害が起こった時の被災地支援も大きな課題となっており、赤い羽根共同募金は、災害ボランティア活動の支援も行っています。村上市においても8月6日に開設した「災害ボランティアセンター」は、赤い羽根共同募金から助成を受け運営致しました。

募金活動は学校や団体など多くの皆さんに行っていただいております。各世帯につきましては、１世帯1,000円（２つの募金の合計）を目安に取り組んでおります。今年も皆様の温かいご支援をよろしくお願いします。

意志あるお金、募金のチカラ。
赤い羽根共同募金

あなたが 100 円を募金したら、こんなことに使われます!!

☆ 高齢の方のために　10 10 10 10 1 1

孤立しがちな高齢の方などの居場所、「地域の茶の間・サロン」の活動に
ひとり暮らしで高齢の方などの交流や介護予防のための「昼食会」に　など

☆ 市民の皆さんのために　10 10 5

住民同士の助け合いの「ささえあい村上」の活動に
ボランティアの活動や研修に市内の福祉団体の活動に
福祉の啓発と住民のつながりを深める場の「ふれ愛フェスティバル」に
市民の皆様に福祉の情報を発信するため、広報誌「社協むらかみ」の発行に　など

☆ 障がいのある方のために　1 1 1 1

市内の障がい者団体の活動に
障がいのある方が、親睦を深めるための交流活動に
生きづらさを感じている方などの居場所　など

☆ 子どもたちのために　5

市内の小・中・高校の福祉活動
地域での子どもから高齢の方までの交流活動に　など

☆ 県内の福祉活動のために　10 10 1 1 1 1

県内の福祉団体の活動や福祉施設の充実
災害が起きたときの準備金　など

お知らせ

歳末たすけあい事業

これまで実施してきた「おせち料理配食事業」は、昨年度で終了とさせていただきます。長年事業にご協力くださいました民生委員・児童委員の皆様、区長様、市内事業者様大変ありがとうございました。

今年度は、コロナ禍により顕在化した経済的困窮や社会的孤立など今日的な地域課題に対応した事業として「歳末応援事業」を実施します。

内　　容　１世帯5,000円程度の食品詰合せセット　１セット
対 象 者　次のいずれかに該当する世帯（生活保護世帯は除く）
①フードバンクからの支援を継続的に受けている世帯
②社会福祉協議会で生活支援相談を受けている世帯のうち、必要と思われる世帯
※対象の方には、後日案内にてお知らせいたします。

■問い合わせ
社会福祉協議会　地域福祉課　☎62－7757

村上おもちゃ病院の10月・11月の開院日

★開院日
10月22日㈯
11月26日㈯

★会　場　クリエート村上
★時　間　午前９時～11時30分

優しいドクターが治療、**「こども達の物を大切にする心」**をはぐくみます！

また、各種イベントでの開院、工作教室等の希望があれば対応いたします。

■問い合わせ
社会福祉協議会　地域福祉課　☎62－7757

パソコン教室のご案内

初心者または初級者を対象としたパソコン教室を開催します。

★日　　時　令和４年10月26日㈬
14:00 ～ 16:00
★会　　場　ゆり花会館（村上市勝木862番地１）
★内　　容　基本操作、文字入力の基本編、表計算など
★募集人員　５名程度
★持 ち 物　パソコン
（貸出用２台あります）
★受 講 料　無料
★申込締切　10月24日㈪まで

■申込み・問い合わせ　ゆり花会館　☎77－3991

たくさんの善意をありがとうございました

（７月11日～９月５日現在）

【寄付金】

荒川ゲートボール連盟　様	10,500円
（故）杉江　房　様	10,000円
塚田　文也　様	1,000円

【寄付物品】

小林　奈美子　様	オムツ・パット
髪ingコンドウ　様	シャンプー
大倉　昭二郎　様	車椅子
遠山　節子　様	オムツ
匿名	綿毛布・タオル・ウエス
	介護用品・切手・ハガキ

シリーズ♥つながり TSUNAGARI

皆さんがつくりあげてきた地域の茶の間や様々な居場所、福祉の現場をシリーズで紹介します。

山北徳洲会介護医療院

村上市勝木に事業所を構える「山北徳洲会介護医療院」。

家庭的な雰囲気で、入所者が自分の有する能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう支援。入所者は「地元での生活を続けたい」と願う方が多く、その希望に添い地域や家庭とのつながりを大切に、入所者やその家族の心に寄り添った介護と医療を一体的に提供されています。

コロナ禍で面会の制限はあるものの、リモート面会で画面越しに会話を楽しむ様子や、生活用品を届けに来所した家族へ普段の様子を詳しく伝える職員の様子に、直接会えないコロナ禍の時間を繋ぐ温かさを感じます。

季節に合わせたレクリエーションで、様々な工作をしたり、手先の器用さが光る一面も。施設内も季節の飾り付けが多くあり、自分でリハビリを兼ね施設内を回り楽しんで過ごされる方もいます。

在宅介護のコツをシリーズで紹介

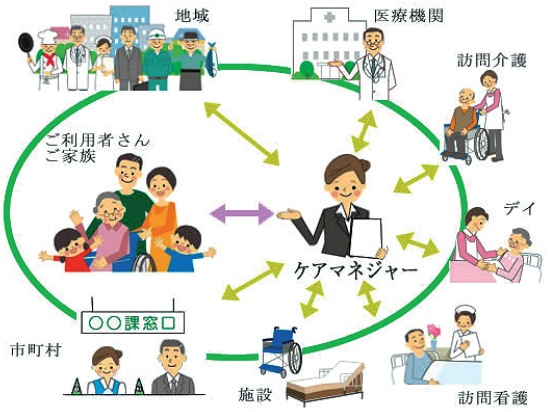
～居宅ケアマネの視点から～

在宅介護は、予想以上の負担がかかります。

介護者自身にとっても、介護が必要な方にとってもお互いが気持ちよく過ごせることが何より大切です。

◆介護保険在宅サービスの活用

自宅で利用し生活できる介護保険サービスは様々あります。生活スタイルや身体状況によって利用してみましょう。



◆介護保険住宅改修の活用

住宅改修による環境整備で一人でもできる生活動作が増えれば自立した在宅生活の継続と家族の安心につながります。

◆協力者を周りにつくること

介護は一人で担うものではなく分担して行うものと考えて気持ちに余裕を持つことが大事です。介護に疲れたとき悩みを吐き出せる身近な協力者をつくることは重要です。

◆介護者が笑顔でいること

介護も子育てと同様に介護者が身体も気持ちも元気でいることが一番大事なことです。頑張り過ぎない介護を続けていきましょう。

（居宅介護支援さんぽく　ケアマネージャー）

この広報誌は、赤い羽根共同募金配分金を受けて発行しています。

社協むらかみは、資源保護のため古紙配合率70%再生紙と環境にやさしい大豆油インクを使用しています

編集・発行　社会福祉法人　村上市社会福祉協議会
〒958－0809　新潟県村上市下相川316番地2　E-mail：syakyo.murakami@helen.ocn.ne.jp
TEL(0254)53－3467　FAX(0254)50－0020　ホームページ：http://www.murakamisyakyou.com/

社協むらかみ　検索